

京都大学大学院文学研究科
アジア親密圏/公共圏教育研究センター
第5回公開セミナー

「無成長社会」における資源管理： 生業の脱サブシステム



中川 千草

(京都大学文学研究科GCOE研究員)

本報告では、過疎と高齢化問題を抱える地方社会(三重県熊野灘沿岸部に位置する相賀浦地区)における資源管理の現在とそれをめぐる住民の志向性を主テーマとする。その際、考察の対象となる社会＝むらでもっとも従事者が多い漁種であるイセエビ網漁に注目する。漁は、時間や空間をめぐる細かなルールに準じて運営されてきた。このようなルールは資源を共同で利用し、管理していくために、ローカルな文脈に沿ってつくられたものであり、資源そのものの持続性を維持することを目的としている。禁漁区や禁漁期間の設定などはその代表例である。しかし、過疎と高齢化が進む地方社会では、後継者不足によって漁の従事者が減り、このような資源の維持を目的としたルールが無意味化していると言っても過言ではない。また、年金をもらいながらの漁を営む者が増えたいま、漁業は、資源を生活の糧にし、現金収入を得て、生活を組み立てていくというサブシステムとして位置づけられなくなりつつもある。本報告では、こういった状況においてもなお、漁師たちが従来のルールのなかで漁を営もうとする理由に焦点を当てる。また、「無成長社会」を生きる地方の人びとが営む生業のなかで、親密圏と公共圏がどのように再編されているのかということについても環境社会学的視点から問うてみたい。

2012年 8月27日(月) 16:30～

京都大学文学部新館5F 社会学共同研究室(L521)

(参加無料・当日参加歓迎)



共催：京都大学グローバルCOE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Tel: 075-753-2734 Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <https://www.gcoe-intimacy.jp/>